



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 197

令和2年（2020年）11月7日発行

■ 立冬（りっとう） 令和2年11月7日から11月21日までの節気

みなさま、いかがおすごしですか。秋晴れの気持ちのいい日、散歩がてら隣町までお昼のパンを買いに行きました。遊歩道の桜の葉はほとんど落ちて、保育園のこどもたちが、先生に連れられてお散歩をしていました。どんぐりを拾いに行くのでしょうか。晩秋のいつもの景色がそこにありました。

二十四節気では、11月7日から21日まで「立冬」です。「冬」という字が出てきました。日差しが弱まり冬の気配を感じるころ。暖かな小春日和が嬉しい季節です。

7日は「鍋の日」です。この日は「立冬」になることが多いので、鯉節、だし、めんつゆの食品メーカーのヤマキが2001年に制定しました。11月7日は「いい(11)な(7)べ」という語呂合わせから来ています。我が家は鍋と言ったら、夫が鍋奉行をつとめる「哲鍋」。鍋名称の「哲」は夫の名前からとりました。タラや鶏肉で出汁をとり、白菜、春菊、練り物、キノコ、豆腐、しらたきなど、「なんでも入れちゃえ」鍋で、醤油ベース。柚子を絞っていただきます。私は「おでん」が好きです。友達とおでんを食べた時、「おでんと言ったら、何？」という話になりました。彼女は「ゆでたまご」。私が「ちくわぶ」と言ったら、彼女は「えーっ、ちくわぶ？ 信じられない！」と一言。皆さんは、おでんと言ったら、なんですか？

11月14日（土）は酉の市の二の酉です。一の酉が11月2日（月）でした。三の酉が、11月26日（木）です。農耕生活の中で縁起の良い日を考え、この日に大鳥神社（鷲神社と書く場合もある）で祭礼が行われました。その門前には、農具や里芋等を売る市が立ち、これを酉の市と呼びました。江戸時代、江戸下町のまだ農村が残っていた地域で始まりましたが、山の手、目黒あたりの大鳥神社でもとても盛んでした。始めは農具の内容も、鋤、鍬、鎌、斧、臼、杵、

箒、熊手など色々ありましたが、箒と熊手が物をトリコム、ハキコムという縁起に結びつくものだったことと、軽く持ち歩きに便利だったことからこれを主に売り出し、やがては熊手の小型のものを作り、縁起物をその内面に取り付けて売るようになりました。（「ともいき暦」より）

今年は感染症対策から、規模を縮小して行われるとのことでした。

そして11月15日（日）は七五三です。私の町の神社でも「七五三受付」のポスターが貼られています。やはり密にならないように工夫しているようです。こどもの成長を喜び祈る親の気持ちは、たとえ今年がいつもと違う年だとしても、変わりはありません。

皆さんのお宅ではこたつを出しますか？ 「こたつ開きの日」というのがあって、江戸時代は旧暦10月の亥の日こたつを出したそうです。五行思想では「亥」は「水」に当てはまるので「火」をおさえてくれるからだとか。今年は11月4日。もう過ぎてしまったので11月16日（月）、2回目の亥の日に合わせて出すのが良いそうです。我が家は待ちきれず、もう出してしまいましたけれど。

先日、鰹節削り器と鰹節を買いました。こどものころ、夕飯の出汁をとるために、鰹節を削る係は私でした。だんだん細くなる鰹節をギリギリまで削るのは難しく時々指を怪我したこともありました。けれども母が細くなった削り節を「食べていいわよ」と言ってくれるのが嬉しくて。がんばりました。鰹節が美味しくてやわらかくなるまでしゃぶっていたものです。そんなことを思い出しながら、今、シャッシャッと鰹節を削っています。削った鰹節に醤油をかけて、新米にのせて食べました。なーんて、美味しいのでしょう。ただし、鰹節は高いので少しずつ削ることにしています。

11月の満月は30日（月）です。お月さま、見られるといいですね。次の「ともいき便り」は12月21日（月）です。今年最後のお便りになります。

一日一日、寒くなります。みなさま、くれぐれも体調に気をつけてお過ごしください。

すとうあさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員）

ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

●「ご苦労様」という言葉があります。私たちは、日常生活の中で、自然に使っています。それは、親たちがその言葉を使っているのを、小さい頃から見聞いて馴染んでいるからです。回覧板を届けてくれて「ご苦労様」。荷物を届けてくれて「ご苦労様」。人と人のコミュニケーションを潤滑にしてくれる言葉の一つです。しかし、今はコロナ禍で宅配便も「置配（おきはい）」が主流です。「ご苦労様」と言葉をかけることもできません。私はwithコロナの時代、届けてくれた人を想像して、荷物に「ご苦労様」と声をかけています。笑えるようで笑えない話です。

日本 2020 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

●立冬の節気です。暦の上では早くも冬。

今年の夏の暑さは異常に感じましたが、もう冬の到来が足音を立てて近づいてきています。

北からは雪の便りと、紅葉・黄葉の便りが届きます。自然からの素晴らしい色の恵みです。

さて、冬の到来とともに、新型コロナウイルスの感染拡大が気になります。実際、ヨーロッパでは感染者数が増加し、北海道でも連日感染者数が増加しています。

しっかりとできうる限りの対策の講じ、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 F A X : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp